

大阪実行委員会ニュース

連絡先：大阪市中央区谷町7丁目3-4 新谷町第3ビル210号室 大阪原水協 TEL(06)6765-2552

核・戦争ノーの声 世代を超えて



茨木市・吹田市で被爆者が挨拶

行進7日目は高槻市 茨木市 摂津市 吹田市というコースでした。この日は茨木市と吹田市で被爆者の方が挨拶をされました。茨木市では茨木市原爆被害者の会の岩本賢三会長（写真左）が挨拶。岩本さんは、オバマ米大統領の広島での発言に一定の評価をしながら「核兵器のない世界をつくることは我々の願いです。今、署名を集めています」と被爆者署名についても触れながら「若い人たちに被爆の実相を伝え、自分たちで考えられるように材料を提供したいと思います。皆さんと一緒に核兵器のない世界を目指したいです」と述べました。

また、吹田でも吹田原爆被害者の会事務局長・北村さんが挨拶をされました。



世代超えて「戦争も核兵器もノー」

「自分たちの意思を示したい」 若いママ二人組
この日も飛び入りの参加がありました。茨木市で小さな子供を抱いた若い女性二人（写真左上から2番目）が「参加させてください」と飛び入り参加。二人は初参加で、参加した理由について「ママの会の宣伝活動を土日に駅前で行っている。そこで昨年平和行進に参加した人から「今日、平和行進がここを通ると聞きました。参議院選挙もあるので自分たちの意思を示したいと思って参加しました。数が多ければ、それだけ注目されますよね」と語りました。



「戦争も核兵器もいや」 奈良から参加 81歳の女性

茨木市の出発集会から、81歳の女性（左下）が参加しました。この女性は、昨年も大阪の平和行進に参加したとのこと。彼女は参加した理由について「核兵器なくしたいし、戦争もいやだ」と語りました。

また、この日は、飛び入りのみならず、沿道からの応援もありました。高槻市役所を出発したところで沿道にいた男性から、また、摂津市役所を出発したところで、女性からそれぞれ協賛金をいただきました。この日も幅広い人々の参加や応援の目立つ行進となりました。